



SDGs未来都市
京都

人口減少対策について

—「応援団」と共創する「未来の千年都市」へ—

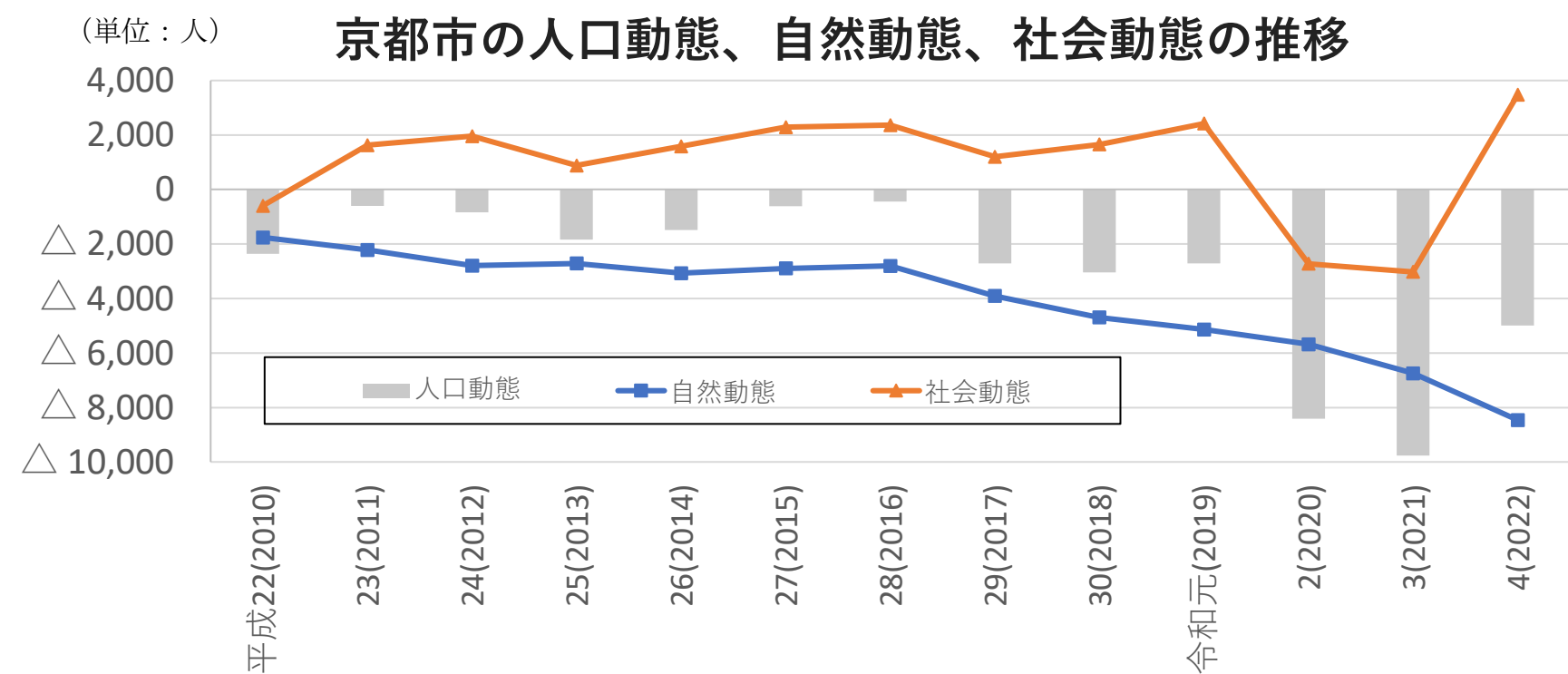
令和5年7月21日



京都市
CITY OF KYOTO

京都市の人口動態—人口減少の本格化

- 京都市の人口は、平成22年頃まで社会動態（転出超過）のマイナスが継続。
⇔ 住まい・仕事・子育て等、あらゆる施策を講じ、**平成23年以降、社会動態は反転**
(147万人前後の人口規模を維持)
- しかし、近年、「**結婚・子育て期**」の近隣都市への転出、「**就職期**」の東京等への**転出**が顕著であり、さらには、継続する**少子化傾向**により、**人口減少局面**に。



出典：京都市統計ポータル「人口動態・人口移動」を基に作成（各年前年10月～当年9月の集計数値）

京都市の人口推移		
平成 2 2 年		1,474,015人
:		:
2 7 年		1,475,183人
:		:
令和 元年		1,470,957人
	2 年	1,463,723人
	3 年	1,453,956人
	4 年	1,448,964人

課題1 結婚・子育て期（25～39歳）の近隣都市への大きな転出

近隣都市（大阪府、府南部、滋賀県）へ家族で転出している。要因は、住宅事情、通勤、結婚など、個人により様々であるが、結婚・子育て世代が求める条件に合った住宅の確保の難しさが大きく影響していると推察される。

対策の方向性 ・若者・子育て世代の居住環境の創出 ・教育/子育て環境の更なる充実 等が必要

課題2 就職期（20～24歳）の東京都を含む関東や大阪府への大きな転出

20～24歳の世代では、全体では転入超過であるものの、東京都を含む関東や大阪府へは転出が顕著である。これらの地域に所在する企業を就職先として選択される就職期の方が多いと推察される。

対策の方向性 ・企業立地の促進、市内企業への就職促進 等が必要

課題3 人口減少が著しい地域

それぞれの地域特性に応じた活性化策に取り組むことで、引き続き、人口減少に歯止めをかけるとともに、持続可能な地域づくりを進める必要があると考えられる。

対策の方向性 ・個別の地域の特性や実情に合わせた取組 が必要

これまでの主な取組（令和5年）

- 本年4月、**人口戦略担当**を総合企画局に新設。
関係部署と「**人口減少対策推進タスクフォース**」を立ち上げ、全庁的な対応を推進！

課題1 結婚・子育て期の転出

- 移住ポータルサイト
「**住むなら京都（みやこ）**」リニューアル [3月30日]
- 都市計画の見直しによる若者・子育て世代の居住環境創出
15年ぶりの大幅な見直し！ [4月25日]
- 市内への移住検討者向け説明・相談会
「**MEETS LIFE IN KYOTO**」vol.1 [6月30日]
- 京都はぐくみネットワーク
「**こどもまんなか応援サポーター**」宣言 [7月4日]
126団体による「こどもまんなか」！
- 市営住宅の「**若者・子育て応援住宅**」への活用
R5秋から入居開始！ [7月7日 活用事業者決定]

課題2 就職期の転出

- 京都駅南オフィス・ラボ誘導プロジェクト
「**京都サウスベクトル**」始動 [4月25日]
※都市計画の見直し施行
- 京都市**企業立地セミナー**@東京・八重洲 [6月6日]
37社出席・満員御礼！
- 地域企業インターンシップ促進プロジェクト
「**京都企業を知る！企業訪問プログラム**」学生募集開始
約20社が協力！ [6月16日]
- オール京都で国際的なスタートアップイベント
「**IVS 2023 KYOTO**」の開催 [6月28日～30日]

課題3 人口減少が著しい地域

- 洛西“**SAIKO**”プロジェクト 間もなく中間とりまとめ！
～さあ、行こう。洛西のミライへ。～ 始動 [4月28日]
- お試し居住プログラム
「**UPCYCLE LIFE HIGASHIYAMA**」第1期スタート
[6月1日～]

I 全庁体制で人口減少対策を推進

人口減少対策推進タスクフォースを中心に、
若者・子育て世代を惹きつける住まい・仕事・子育てなど、
総合的な対策を実行

II 京都ならではの「はぐくみ文化」を深化

はぐくみネットワークを中心に、子育て支援の“輪”を拡大し、
「はぐくみアクション」・「こどもまんなか」の実践を推進！

III 民間との共創による移住定住の応援

京都市移住・定住応援団の取組や共創プラットフォーム
「京CLASS」の構築による公民連携の創出・加速

I 全庁体制で人口減少対策を推進

- タスクフォースにおいて、今後、重点的に検討・取組を進める事項を整理し、一気呵成に推進！

【子育て・住まい】に関する取組

- 若者・子育て世代の居住環境の創出



都市計画の見直しと連動した民間事業者への働きかけ（新築住宅の供給促進）



多彩な情報発信で空き家活用の機運醸成



「路地カルテ」による路地奥住宅の流通促進



市営住宅の「若者・子育て応援住宅」への活用（洛西・向島ニュータウンなど） 等

- 子育て世代に向けた子育て・教育施策の発信強化



インターネットやSNSを活用した情報発信・PR

・9月、ティザーサイト公開！

・今年度中に新ウェブサイト公開＆アプリ刷新！

- 子どもの遊び場の更なる充実



こどもまんなか公園魅力アッププロジェクト始動

・ハード/ソフトの両面から、市内の公園を
子育て世代に向けて魅力アップ！

- 子育て支援・教育の更なる充実



子ども医療費支給制度の拡充（9月～）



全員制中学校給食実施に向けた調査



保育所等の老朽度調査の実施 等

- 移住定住プロモーション事業の強化



無料説明・相談会「MEETS LIFE IN KYOTO」の開催



SUUMOを活用したプロモーション実施 等

I 全庁体制で人口減少対策を推進

【しごと】に関する取組

- 大学や企業等と連携した、学生の市内就職の支援

 **地域企業インターンシップ促進プロジェクト**  **学生とつくるまちの未来プロジェクト** 等

- 京都スタートアップ・エコシステムの構築

 **グローバル拠点推進事業**

学生とSU企業の交流の場を創出し、担い手確保を支援！

- 首都圏等の若い世代のUIターン推進

 **芸術家の移住・居住等推進モデル事業**  **カルチャープレナー(文化起業家)の創造活動促進事業**等

- 若い世代の移住・定住に向けた企業立地促進

 **京都駅南オフィス・ラボ誘導プロジェクト「京都サウスベクトル」** ※都市計画の見直しと連動

- 民間主導のまちづくりと連動した産業の振興・集積  **「東高瀬川ビジネスパーク構想」の推進支援**

・地域企業らの提言を受け、早期に都市計画を見直し
・東高瀬川エリアに成長産業を集積！

【地域】に関する取組

- **洛西“SAIKO”プロジェクト** ～さあ、行こう。洛西のミライへ。～

洛西地域の活性化（生活利便の向上、若者・子育て世帯向けの住まい、公園・公有地の活用、学ぶ場・働く場の充実、交通利便のお向上、魅力発信等）

- **京都駅東南部エリア活性化方針の推進**（チームラボによる市有地活用ほか）

- **住んでこそ！東山プロジェクト**

- **山科の魅力発掘プロジェクト**

- **右京の魅力発信事業**

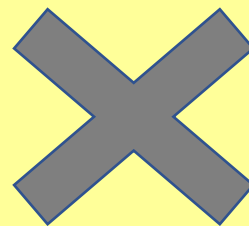
- **住むまち伏見プロジェクト**等

**今後、具体策を
「人口戦略アクション」
として取りまとめ予定**

Ⅱ 京都ならではの「はぐくみ文化」を深化



京都市
CITY OF KYOTO



京都はぐくみネットワーク

「こどもまんなか応援サポーター」宣言 (令和5年7月4日)

【こどもまんなか応援サポーター】

こども家庭庁が掲げる「こどもまんなか」
(こどもたちのために何がもっともよいことを常に考え、こどもたちが健やかで幸せに成長できるような社会を実現すること) の趣旨に共感・賛同し、その取組を応援し、自らもアクションに取り組む個人・団体



【京都はぐくみネットワーク】

- ・ 京都市内において子育てを支える教育福祉、PTA関係等の126団体が参画
- ・ 「京都はぐくみ憲章」の理念の下、地域ぐるみで子どもたちを共に育むとともに、地域の皆様に参加を呼び掛ける「はぐくみアクション」を実践

Ⅱ 京都ならではの「はぐくみ文化」を深化

「こどもまんなか 応援サポーター」宣言

子どもたちの笑顔と健やかな育ちのため、
京都ならではの「はぐくみ文化」を深化！

子育て支援の“輪”を拡大し、
「はぐくみアクション」・「こどもまんなか」の実践を推進！



先進的で特色のある活動などをされている
『「京都はぐくみ憲章」実践推進者』を表彰！
(交流会で活動紹介)

#こどもまんなかやってみた
#はぐくみアクション

参画団体・個人の
SNS等による
子育てに関する
情報発信力の強化！



Let's

はぐくみアクション！

知らせる！

増やす！

子育てに関する
先進的な取組を実施する
事業者・団体の掘り起こし
とネットワークへの
参画促進！



京都はぐくみネットワーク

繋げる！

子育て応援大交流会（仮称）を通じた
個人・団体間の連携の強化！

Ⅲ 民間との共創による移住定住の応援

京都市の移住・定住促進の取組に賛同する企業・団体等を「**京都市移住・定住応援団**」として登録

応援団：民間のアイデア・ノウハウを活かし、京都市への移住定住を応援する活動を実施

京都市：京都市移住ポータルサイト「住むなら京都」等を通じて広報支援

優れた提案に対し、事業費用の2分の1の範囲で1事業当たり最大20万円を補助

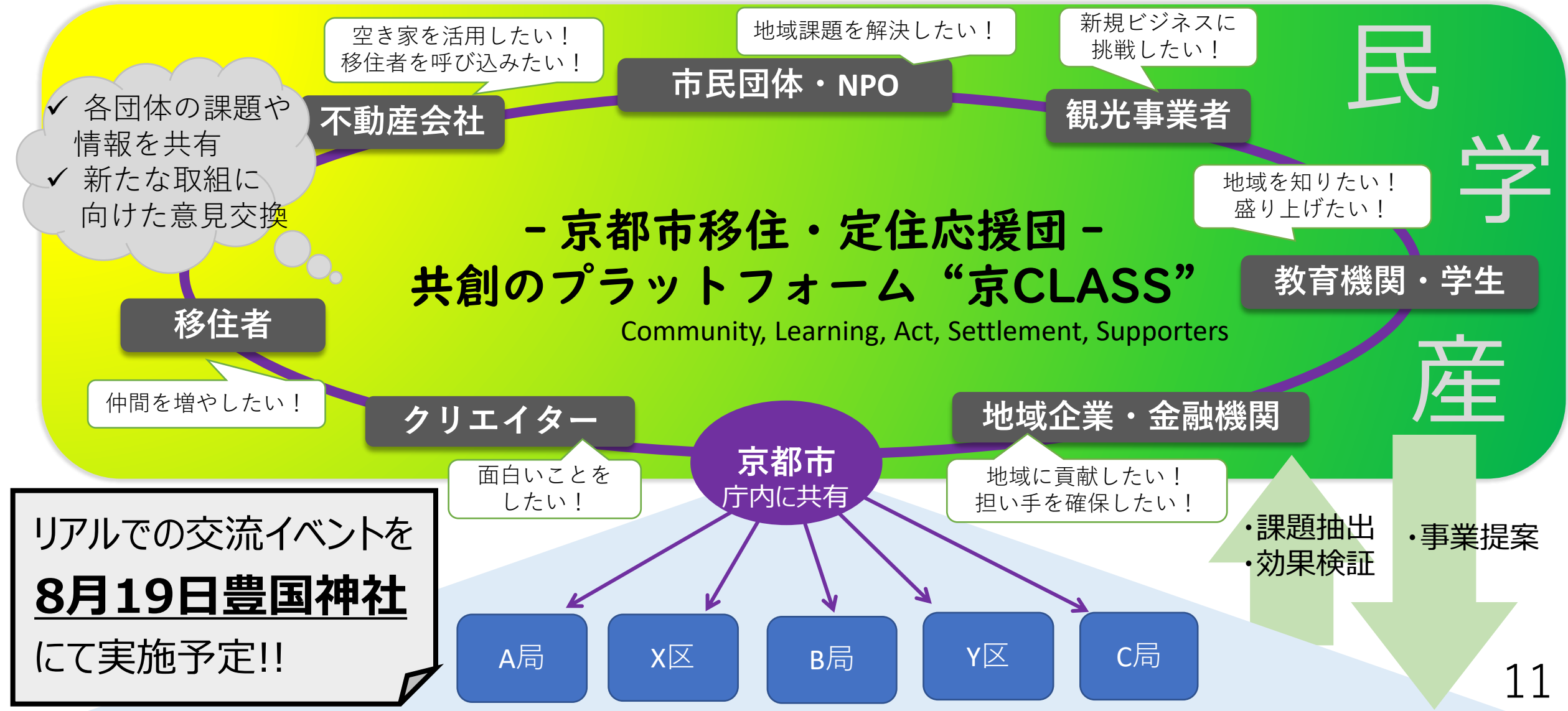
京都市移住・定住応援団 登録企業・団体等 【33団体（7月20日時点）】

株式会社エージェント	株式会社アール	KAMODEL
Flaming June合同会社	栗田自治連合会空き家対策実行委員会	株式会社一級建築士事務所 STUDIO MONAKA
子育てママ支援サークル☆はじめのいっぽ	株式会社ツナグム	株式会社フラットエージェンシー
むらさきスタイルプロジェクト推進協議会	社会保険労務士しんたに労務事務所	有限会社デコラティブモードナンバーズリー
東山くらしよし	株式会社DML	一般社団法人ぼくみん
空き家バンク京都株式会社	富士アドマックス株式会社	野村不動産ホテルズ株式会社
NPO法人321プロジェクト	一般社団法人HAPS	株式会社グロウ・リパブリック
株式会社ニシザワステイ	株式会社装舎	Slow Innovation株式会社
株式会社プラスホーム	EVER株式会社	合同会社洛北社中
合同会社平安林業	ワットエバー株式会社	
株式会社空間編集舎	宗教法人豊国神社	
株式会社白川まちづくり会社	紫野エリアマップ作る会	



Ⅲ 民間との共創による移住定住の応援

- リアルとオンライン両輪で、応援団同士や市との連携を加速させる
「共創のプラットフォーム“京CLASS”」を構築



Ⅲ 民間との共創による移住定住の応援

京都市移住・定住応援団 取組事例の御紹介

➤ UPCYCLE LIFE HIGASHIYAMA プロジェクト (株式会社ニシザワステイ、NOHGA HOTEL KIYOMIZU KYOTO)

東山区への移住検討者を対象に3日～1週間程度の「お試し居住」を実施。お試し居住と併せて、京都に住む魅力を感じられる体験や、物件内覧といったサービスなどを提供。

➤ ハレトケ NORTH KYOTO ～洛北から広がる循環型関係人口の輪～ (株式会社フラットエージェンシー、合同会社洛北社中、Slow Innovation株式会社、株式会社一級建築士事務所 STUDIO MONAKA、一般社団法人ぼくみん)

北区の新大宮商店街周辺（通称：むらさきエリア）の公園・商店街・シェアハウス等を舞台に、世界に誇る"京のハレとケの暮らし"を共創。関係人口と共につくる地域共生と循環をコンセプトに、暮らしも心も地域も豊かになる付加価値の高いライフスタイルを提供。

➤ 古くて新しい京都の文化を作るプロジェクト (ワットエバー株式会社、EVER株式会社、株式会社DML)

左京区内での都市開発やシェアリングサービスを通じ、移住・定住と仕事や地域コミュニティを連動（循環）させ、共創の仕組みづくりを推進し、新しい文化が生まれる土壌を形成するプロジェクト。